

■ 情報・コミュニケーションの保障に関する配慮や工夫 障がい者が「困ったこと」「あったらいいな」と思った配慮や工夫

視覚障がい者用の機器(パソコン、時計、テープレコーダーなど)が高額すぎる。	視覚障がい
パソコンがなくても情報にアクセスできるようにして欲しい。	視覚障がい
手足が全く動かないので、パソコンの入力装置の給付を検討して欲しい。	肢体不自由
パソコンを使えないのでとても不便。	肢体不自由
IT(パソコン、携帯電話、スマートフォン等)の使い方をもっと教えて欲しい。	知的障がい、精神障がい
ホームページなどで、PDFが多くなっているが読みにくいのでテキスト形式も作って欲しい。	盲ろう
ITを利用してコミュニケーションに役立っているが、特別のソフトや機種を要するときや故障時のサポート等、低所得の障がい者には利用が困難と思う。	肢体不自由・内部障がい
ホームページのラジオボタンが小さいので、ポインタを合わせるのが困難。配慮して欲しい。	肢体不自由
故障や事故のとき通報できないので、携帯に緊急メール一覧を作成し、そこに日時・場所・内容を打つだけで通報出来るようにして欲しい。	聴覚障がい
点字があると助かる。パンフレット、チラシ、会議の案内等点字版がないので内容が分からない。	視覚障がい、盲ろう
行政の情報は、点字で欲しい。点字の資料は、事前に送付して欲しい。	視覚障がい
公文書のあて名と中身ともに点字があると助かる。	視覚障がい
スマートフォンが点字でも使えるようになれば、情報へのアクセスが容易になると思う。	盲ろう
点字用の時計があると助かる。	盲ろう
タッチパネルだと使用できないので、何とかして欲しい。	視覚障がい、精神障がい
音声による情報を流して欲しい。あらゆる場面での音声ガイドが欲しい。	視覚障がい

携帯電話のメールや電話帳等に、音声機能をつけて欲しい。	視覚障がい
国や府その他の情報について、点字版と同様に音声化もして欲しい。	視覚障がい
講演会等でスライドが示されたが、音声による説明がなかったので分かりにくかった。	視覚障がい
ラジオやテレビが早口だったり、たくさん話しすぎて何を言っているのか分かりにくい。	視覚障がい
副音声イヤホンガイドを増やして欲しい。	視覚障がい
送られてくる郵便物などは内容を確認することができないので、図書館などでリーディングサービスをして欲しい。	視覚障がい
もっと軽量、コンパクトで且つ安価なポケットサイズの拡声器の開発を公費で行なって欲しい。	音声・言語・そしゃく機能障がい
打ち合わせや講演会で手話通訳がなかったので、うまくコミュニケーションがとれなかった。	聴覚障がい、盲ろう
手話通訳者を増やして欲しい。	聴覚障がい
講演会の手話通訳者の手話表現が違うため分かりにくい。	盲ろう
手話通訳は、対応手話と日本手話を区別して使って欲しい。	聴覚障がい
できるだけ、多くの人に手話を覚えて欲しい。手話で伝えたいが相手が手話ができない。	聴覚障がい
手話が見えず、不安になることがある。	盲ろう
舞台上の人と手話通訳者の距離が離れていると困る。本人の顔も見たいので、本人のそばに通訳が立って欲しい。	聴覚障がい
市からの手話通訳派遣の利用範囲をもっと広げて欲しい。(カルチャー関係、料理教室などにも)	聴覚障がい
手話通訳者を養成して欲しい。手話通訳派遣センターをもっと増やして欲しい。	聴覚障がい
手話通訳者を呼ぶのに、事前手続きなどで時間がかかる。	聴覚障がい
パンフレットなど、拡大文字版があればいいのと思う。	盲ろう、視覚障がい

なるべく大きい字にして欲しい。色の薄いインクは使用しないで欲しい。	視覚障がい
役所の届出用紙の文字が、小さかったり、薄かったりして読みづらく、書きづらい。	視覚障がい
日常生活品が色の色別が認められていないので大阪府内で統一して欲しい。	視覚障がい
高次脳機能障がいのため、漢字が読めず、ひらがな、カタカナで書いてもらえると分かりやすい。	肢体不自由
電光掲示板が、当たり前のものであって欲しい。公共の場では必要なことは電光掲示板に流してもらえると助かる。	聴覚障がい、知的障がい
歌手のライブや講演会などでは、手話通訳者だけでなく、要約筆記も追加して欲しい。 (手話通訳だけの場合、席によっては情報が見えにくい。要約筆記スクリーンの方が大きくて安心)	聴覚障がい
料理教室などにも要約筆記をつけて欲しい。	聴覚障がい
要約筆記の時、色の違いや、写真を出したりした時、見にくい。	盲ろう
要約筆記者を派遣してもらえる範囲が決まっており、私用で頼めない。趣味の勉強会や講座に頼めないのが残念。有料(利用者負担)の派遣制度もあれば良いと思う。	聴覚障がい
触手話が必要です。	盲ろう
こちらが聞こえないことを伝えても、筆談してもらえず、困った。最初は筆談していても、いつの間にか口頭だけになることがある。	聴覚障がい
手書きでコミュニケーションをするので相手が早く書いたりするので分かりにくい。	盲ろう
口話で話す時は通じるが、通じない時は筆記にしまい時間がかかってしまう。	聴覚障がい
ノートテイク、パソコン通訳など、コミュニケーションにあった準備が欲しい。	盲ろう、聴覚障がい
難聴者と中途失聴者とうろうあ者などで、コミュニケーション方法が異なるので、講演会などで工夫が必要。	聴覚障がい
話し声が表示される機器が欲しい。手話を話す機器が欲しい。	聴覚障がい
話に入っていけない。	聴覚障がい、知的障がい
手書きする時早く書いたり手話表現がちがうので通じない	盲ろう
府民の皆さんが、身振り、手振りをしてくれたらいいと思う。	盲ろう

講演会など部屋の中が暗いので触手話や口話などが分かりにくく、通じないので困る。	盲ろう
代読通訳はいるが、ゆっくりと自分で読めないのが困る。	盲ろう
文字の情報は分かりにくいので、絵やマンガをたくさん入れて欲しい。	聴覚障がい、肢体不自由
講演会などスクリーンが見えにくい。(要約筆記の字も分かりにくい)	盲ろう
建物内の車いす用トイレについては、車椅子マークがあるため見つけやすくなったが、どのような設備があるのかは、まだまだ見つけにくい状態。フロアマップ等は特に、その点に注意して作成して欲しい。 階段がある箇所にはすべて代替経路を記した地図を用意して欲しい。階段上がったところに目的地があっても、スロープやエレベータを探すのに時間がかかる。文章だけではなく、絵や地図で分かりやすくしてもらえると便利。	肢体不自由
視覚支援がないとき、困った。	知的障がい
色弱の研究が進んでコンタクトやメガネができれば改善される場所は大きい。	精神障がい
月一回の広報では、あまりにも情報が少ない。	肢体不自由
通訳者への報酬は高く設定されているのに、通訳の技術が未熟である。	盲ろう
介助者が足りないので増やして欲しい。	盲ろう
手話通訳や要約筆記などの情報保障がないと全く理解できないので、公共施設には、それらに対応できる人が常駐して欲しい。	聴覚障がい
上手に相手に気持ちを伝えられない時、助けてくれる人が欲しい。	不明
大事な話をするとき通訳がつくのか不安になる。	不明
ゆっくりと大きな声で話して欲しい。早口すぎて聞き取れない。	視覚障がい、盲ろう、肢体不自由、知的障がい
大声を出せば分かるという感覚の人が多く、困っている。 話しが通じないのは、聞こえないからと決めつけないで欲しい。	聴覚障がい
あいさつや声かけのとき、名前を名乗ってもらえず、コミュニケーションがとりにくかった。(名前を言って欲しい)	視覚障がい
道を歩いていて、声をかけられても分からないので困る。	聴覚障がい

自分の用件であっても、そばに健常者がいると、その人に話しかけるので、困る。	聴覚障がい
言語障がいがあるので話していることを何回も話しているのに、“もういいです”と言われてつらい。	肢体不自由
災害時のテレビやラジオでの発信音を、回数を多くするなど、分かるようにしてほしい。	視覚障がい
テレビ等で、緊急放送時はテロップだけでは分からないので音声を流してほしい。	視覚障がい
緊急災害情報をメールやFAXで伝えてほしい。	聴覚障がい
防災の面で災害が起きた時、緊急避難所等の情報を早く伝えてほしい。	視覚障がい、聴覚障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、盲ろう
視覚障がい者に理解のない人が役所など公的機関に多い。民間に学んでほしい。	視覚障がい
理解のない方もいて、気分を害する。	聴覚障がい
聞く意思があるかどうかに関係なく伝わる情報が得られない。「聞こえない」と「聞かない」の違いを理解せず、誤解される。	聴覚障がい
公衆電話がほとんどなくなって、大変苦労している。	精神障がい
免許証の切り替え時や、安全運転について講習を受ける時、通訳者やスライドが必要。	聴覚障がい
点字を読めない盲ろう者に対する情報提供を、盲ろう者が住んでいる地域の行政できちんと把握して行ってほしい。	盲ろう
目覚まし時間が分かりにくいので、分かりやすくしてほしい。	盲ろう
周りの人でも判る障がい者マークがあればいい。	肢体不自由
薬がきつい時、副作用で会話がしづらくなることを分かってほしい。時間をゆっくりかけて話せるように工夫してほしい。	精神障がい